

保育士，幼稚園・小学校教諭養成校で 用いられているこどもの歌

——近畿圏内の 1989 年から 2012 年に出版されたテキストの分析その 1——

衣川 久美子・山崎 和子・坂井 康子

Children's Songs Offered at Music Teachers Training Schools for Nursery, Kindergarten and Elementary Schools

——Analysis of Textbooks Published from 1989 to 2012, in Kinki Area, #1——

KINUGAWA Kumiko, YAMASAKI Kazuko and SAKAI Yasuko

Abstract : In the process of guiding students to sing to their own piano accompaniment, it is sometimes the case with them that students do not know children's songs they are expected to know. The musical environment of the students in the Internet age is difficult for us in the adult generation to imagine. It is remarkable that current trend in choice of Children's Songs has changed. What songs did trainees sing in their childhood? How do trainers handle the fact that there are fewer songs in common through all generations? These questions generated the motivation to do this research. The research analyzes the Kinki area's school textbooks and the songs offered in the textbooks as Children's Songs. The analysis identifies Children's Songs that authors and teachers wish for children to inherit from generation to generation, and the current trends in the choice of music that are applied to the textbooks.

はじめに

近年，弾き歌いの指導の場で，当然知っているだろうと思われるこどもの歌を，学生が知らないという現実に遭遇することが多々ある。旧来のメディア（TV，ラジオ，レコード，CD 等）に加え，インターネットを通して，おびただしい量の情報が流される昨今だけに，平成生まれの学生の音楽環境は我々の想像を越えるものがある。その中で，最近のこどもの歌の傾向がかなり変わってきているという思いを強くしている。例えば，NHK の「みんなのうた」がポップス化していることや，歌のはやりすたりの速度が激しくなっている状況があり（葉口 2003），また教育の場で習った歌と好きな歌が違うというデータもある（バンダイこどもアンケートレポート 2007・2010）。この様な変動

にどのように対応していけばよいのか？学生はどのような歌を歌い育ってきたのか？また世代を越えて共有できる歌が減っている事実をどのようにとらえて対処していけばよいのか？これらの疑問がこの研究のきっかけである。

こどもの歌を扱った先行研究には，上記以外に編集者側から出版譜の歌の傾向を探るもの（五味 1991），指導者からみた歌詞の変様の問題点を提起するもの（滝田 1999, 2000, 2003），現場から学生の好みや実習園，採用試験の実態を調査するもの（玉井 2005），実習で求められる音楽活動から実習前指導のあり方を考えるもの（小澤 2009），保育者養成校と保育現場のアンケートから，現状に適したこどもの歌を分析するもの（全国大学音楽教育学会共同研究実行委員会 2009）などがある。

こどもの歌の本は，家庭（親と子ども）や教育現場

(先生と子ども)で歌うことを楽しみ、世代を越えて歌い継いでほしいという編集者の願いが、選曲に表れていると思われる。同時に、指導者が数ある歌の本の中からテキストを特定する場合にも、同様の願いを込めていると考える。

そこで、本研究は、その1として、近畿圏内の22の養成校で使われているテキストに掲載されている曲のデータを取り、どのような曲が選ばれているかを分析し、考察を行うことにした。

1. 22の養成校のテキスト

1.1 概要

今回調査をした22の保育士、幼稚園・小学校教諭養成校は、情報が得やすいことを最優先に選んだ近畿圏の大学12校と短期大学10校である。府県別の内訳は、図1に見るように、兵庫県11校(大学7・短大4)、大阪府6校(大学2・短大4)、京都府3校(大学3)、奈良県1校(短大1)、滋賀県1校(短大1)で、兵庫県が半数を占めている。また、図2に見るように、大学が12校、男女共学が13校と、両方が半数以上であり、近畿圏の養成校で共学化と大学への移行が徐々に進んでいることがうかがえる。

表1に、22の大学および短期大学で用いられているテキスト総数51冊、33種類を示した。出版社は16社であった。今回の調査は、提供された情報のみに頼るもので、使用テキストの全てを網羅できているかどうかは不確実な点があるが、テキストの種類は予想以上で、その多様さに驚かされた。1校で1~6種類が用

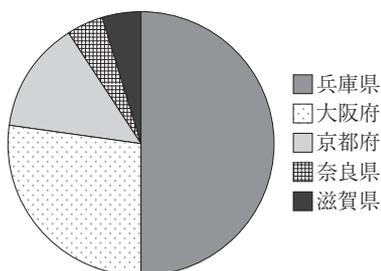


図1 近畿圏における22の養成校の分布

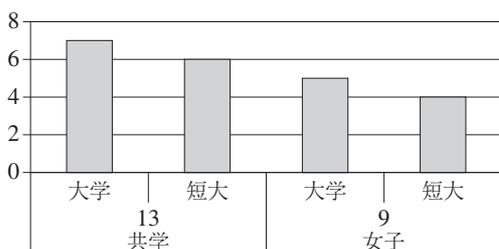


図2 調査した大学・短大の分布

いられており、平均すると1校で2種類以上のテキストが使われていることになる。ここから、各校がそれぞれのニーズに応じて学習内容を充実させるために、およそ2種類以上を使用していることが推察される。よりていねいな補充のために、プリントを配布している所も多いようである。

テキストは、弾き歌いの曲以外に、わらべうた、あそびうた、音楽表現、音楽理論、教育法などが組み合わされているものが多い。弾き歌い曲にピアノ曲集やリズム曲集を併載したテキスト¹⁾もあり、その内容は多様である。また、小学校教員養成は内容がさらに広がり、初等科音楽教育法のテキスト²⁾を用いるほか、大学各校でそれぞれに対策がとられている。

1.2 オリジナルテキストの工夫

表1に、学内出版をされていると思われるJ短大オリジナルと表示したテキストが3種類あり、これ以外にも各大学の教師が編著者であるテキストが13種類³⁾あり、これらを合わせるとオリジナルテキストが16種類で全体の約50%になる。ここから、各大学が自校や現場の事情に合わせて、必要かつ有効な内容を盛り込んだテキストを工夫していることが読み取れる。また、同じテキストが2~5校で使用されているのは、異なる大学の教師間で協力して作成されていることや、テキストの使用メリットの高さが評価されていることを示している。筆者達が関わったテキストも、レパートリーの適切さと同時に、学生にとっていかに弾きやすく、演奏力がつき、現場で活用してもらえることを想定して作成した⁴⁾。

1.3 伴奏形態

弾き歌い曲の伴奏譜の様相は多様である。表1には伴奏形態を3つに分類して示した。「原」は原曲、「簡」は簡易伴奏、「メ」はメロディー譜を表す。また、「(コ)」はコード付き、「(和)」は和音記号付きであることを示す。

原曲のみのテキストが2種類⁵⁾だけなのに対し、簡易伴奏のみのテキストは12種類と圧倒的に多い。原曲に簡易伴奏譜やコード付きのメロディー譜を併載しているテキストが9種類あった。簡易伴奏譜にコード付きのメロディー譜を併載しているものが3種類あり、コード付きのメロディー譜のみのテキスト⁶⁾は3種類あった。この様に分類してみると、弾きやすさに重点を置き、伴奏の難易度を選べるように配慮した楽譜が計28種類となり、全体の90%を占めている。

表1 近畿圏22大学・短大でもちいられているこどものうたのテキスト

| 番号 | テキスト名 | 編・著・監修者 | 出版社 | 使用数 | 伴奏形態 | | |
|----|------------------|------------|---------------|-----|------|-------|----------|
| | | | | | 原(コ) | 簡(コ) | メ(コ) |
| 1 | 歌おう！弾こう！こどもとともに | 坂井康子他 | ヤマハミュージックメディア | 3 | 原(コ) | | メ(コ) |
| 2 | うたのメルヘン | 伊藤嘉子他 | 共同音楽出版社 | 1 | 原(コ) | 簡(コ) | メ(コ) |
| 3 | 歌はともだち | | 教育芸術社 | 1 | | | メ(コ) |
| 4 | おいしいってうれしいね | 大串和久他 | 共同音楽出版社 | 1 | | 簡(コ)簡 | |
| 5 | おんがく玉手箱 | 伊藤嘉子他 | 共同音楽出版社 | 1 | | 簡(コ) | |
| 6 | おんがくのしくみ | 今川恭子他 | 教育芸術社 | 1 | | 簡 | メ(コ)メ(和) |
| 7 | 音楽リズム | 小林美実 | 東京書籍 | 2 | 原(コ) | 簡(コ) | メ |
| 8 | おんぶであそぶぴあの | 辻本健市 | サーベル社 | 1 | | 簡(コ) | |
| 9 | 子どもの歌 | A 大学オリジナル | | 1 | | | メ(コ) |
| 10 | こどものうた | A 大学オリジナル | | 1 | 原(コ) | | |
| 11 | こどものうた200 | 小林美実 | チャイルド社 | 4 | | 簡 | メ |
| 12 | こどものうた伴奏集 | 深川恵二他 | 自由現代社 | 1 | | 簡(コ) | |
| 13 | こどものうた伴奏集Ⅱ | 長谷川久美子 | 自由現代社 | 1 | | 簡(コ) | |
| 14 | こどものうた伴奏大全集 | 長谷川久美子他 | 自由現代社 | 1 | | 簡(コ) | |
| 15 | こどものうた100 | 小林美実他 | チャイルド社 | 2 | 原 | 簡(コ) | |
| 16 | こどものうた弾き歌いベスト50 | 深見友紀子他 | 音楽之友社 | 1 | 原 | | |
| 17 | こどものうた名曲全集 | 松山祐士 | ドレミ楽譜出版社 | 1 | | | メ(コ) |
| 18 | 実用こどもの歌曲200選 | 松山祐士 | チャイルド社 | 1 | | 簡(コ) | |
| 19 | 初等科音楽教育法〔改定版〕 | 初等科音楽教育研究会 | 音楽之友社 | 4 | 原 | 簡(コ) | |
| 20 | 続こどものうた200 | 小林美実 | チャイルド社 | 1 | | 簡(コ) | メ(コ)メ |
| 21 | 楽しい音楽表現 | 高御堂愛子他 | 圭文社 | 1 | | 簡(コ) | メ |
| 22 | 手あそび百科 | 植田光子 | ひかりのくに | 1 | | 簡(コ) | |
| 23 | 弾き歌いテキスト | A 大学オリジナル | | 1 | 原(コ) | 簡(コ) | |
| 24 | My Melody | 鷺見三千代 | 全音楽譜出版社 | 1 | | 簡(コ)簡 | |
| 25 | My LessonⅡ | 谷本京子他 | 全音楽譜出版社 | 1 | 原(コ) | 簡(コ)簡 | |
| 26 | マイ・レパートリー | 坂井康子他 | ヤマハミュージックメディア | 3 | | 簡(コ) | メ(コ) |
| 27 | やさしい伴奏によるこどものうた① | 東保 | 全音楽譜出版社 | 1 | | 簡 | |
| 28 | やさしい弾き歌い75 | 植田光子他 | 音楽之友社 | 5 | | 簡(コ) | |
| 29 | 幼児のうた130選 | 繁下和雄 | 全国社会福祉協議会 | 1 | 原(コ) | | メ(コ) |
| 30 | 幼児の音楽教育 | | 音楽教育研究協会 | 2 | | 簡(コ) | メ |
| 31 | 幼児のための音楽教育 | | 教育芸術社 | 1 | 原 | 簡(コ) | メ |
| 32 | わらべうたあそび秋・冬 | 畑玲子他 | 明治図書出版 | 1 | | | メ |
| 33 | わらべうたあそび春・夏 | 畑玲子他 | 明治図書出版 | 1 | | | メ |
| | | | | 51 | 11 | 24 | 16(9・7) |

※伴奏形態の原は原曲、簡は簡易伴奏譜、メはメロディー譜を示す。(コ)はコードネーム付き、(和)は和音記号付きである事を示す。

コード付きのメロディー譜は、簡易伴奏に勝る弾きやすさを提供すると同時に、即興伴奏などの応用力を伸ばすことが期待できるので、9種類のテキストに併載されている。コードは原曲と簡易伴奏のほとんどに記入されており、コード伴奏で弾く選択もできるようになっている。ただ、コード伴奏は、基本の3コード以上になるとかえって難しくなるという問題を含んでいる。

わらべうたや遊びうたなど、メロディーのみの無伴奏の楽譜⁷⁾は2種類あったが、このようなメロディー譜は6種類のテキストにも併載されている。

近年、保育士試験では、ピアノだけでなく携帯できる楽器として、ギターやアコーディオンでの受験が可能になっているので、ギターやアコーディオンの伴奏法を付加したテキストや、さらに電子オルガン伴奏法を付加したテキストもある⁸⁾。

図3に、22大学・短期大学で活用されている子ども

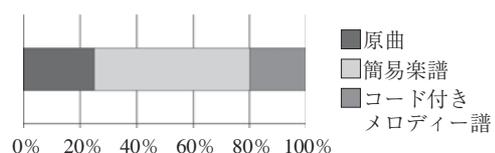


図3 33種類のテキストの伴奏形態

もの歌の伴奏形態の分布を、表1のデータに基づいて、原曲、簡易伴奏譜、コード付きメロディー譜の3種で示す。

1.4 弾き歌いの現状

伴奏形態を解析すると、伴奏法の多様性と同時に、テキストの編著者や採用者が学生に求めていることが見えてくる。それは簡易伴奏やコード伴奏であっても、子どもたちに音楽を楽しく伝えるためのスキルとして、力を蓄えてほしいという願いである。

鍵盤楽器の経験が豊かであっても、弾きながら歌

い、子どもを指導することは大変難しい。入学試験に鍵盤楽器の試験が課されていないだけに、経験が全くない学生が全体の 1/3 を占めており、この状況は徐々に増加して行く傾向にある (坂井 2008)。男女共学の増加により、今後さらにこの傾向は強くなって行くと思われる。経験差を越えて、わずか 1~2 年の学習期間で、現場で必要な技術にまで演奏力を付けること、さらにそれを採用試験やそれ以後の仕事にまで維持し続けることは大変なことで、継続的な地道な努力が必要となる。特に弾き歌いは演奏実技の中でも大変高度

な応用力が必要であるので、原曲にこだわらずに、簡易楽譜やコード譜で学生の力を何とか引き出し、伴奏力を伸ばそうと様々な工夫がされていることがテキストの構成からわかる。表 1 に見るように、テキストを 3~6 種類使用している大学が 5 校あるのは、学生の実態の多様さと、それにできるだけ緻密に対応しようとする、大学の姿勢や苦心を表していると言える。こうした弾き歌いの現状をもの語る、22 の各大学・短期大学のテキストの使用状況を、表 2 に府県別にまとめている。

表 2 府県別の養成大学・短大使用テキスト

| | 大学名 | 使用テキスト名 | 出版年 | 出版社 |
|----|------|------------------------------------------------------|--------------------|-------------------|
| 1 | A 大学 | 音楽リズム 幼児教育法シリーズ 幼児のうた楽譜集 幼児教育科・保育科/幼稚園教員・保育士養成課程用 | 2012・32 版 (1984 初) | 東京書籍 |
| 2 | B 大学 | 幼稚園教諭、保育士、小学校教員をめざす人のためのピアノテキスト 歌おう!弾こう!こどもとともに | 2012・10 版 (2006 初) | ヤマハ ミュージックメディア |
| | | 教育・保育現場で毎日使える コードでかんたん!こどものうた マイ・レパートリー | 2012・5 版 (2008) | ヤマハ ミュージックメディア |
| | | 最新 初等科音楽教育法 [改定版] 小学校教員養成課程用 | 2012・3 版 (2011 初) | 音楽之友社 |
| 3 | C 大学 | やさしい弾き歌い 75 保育者のためのーよく歌われる子どもの歌 | 2011・6 版 (2007 初) | 音楽之友社 |
| | | Child 保育実用書シリーズ こどものうた 200 | 2010・93 版 (1975 初) | チャイルド社 |
| 4 | D 大学 | My Lesson II 大学・短大教職課程のための ピアノ曲集・童謡曲集 | 1989 | 全音楽譜出版社 |
| 5 | E 大学 | 幼稚園教諭、保育士、小学校教員をめざす人のためのピアノテキスト 歌おう!弾こう!こどもとともに | 2012・10 版 (2006 初) | ヤマハ ミュージックメディア |
| | | 教育・保育現場で毎日使える コードでかんたん!こどものうた マイ・レパートリー | 2012・5 版 (2008) | ヤマハ ミュージックメディア |
| 6 | F 大学 | おんぶであそぶびあの のびのびとした音楽指導のヒントがいっぱい | 2008 初 | サーベル社 |
| 7 | G 大学 | 幼児教育・保育士養成のための 幼児の音楽教育 ー音楽的表現の指導ー | 2006・8 版 | 音楽教育研究協会 |
| | | 最新 初等科音楽教育法 [改定版] 小学校教員養成課程用 | 2012・3 版 (2011 初) | 音楽之友社 |
| | | おんがくのしくみ 歌って動いてつくってわかる音楽理論 幼稚園・保育士・小学校教員養成課程用 | 2011・6 版 (1984 初) | 教育芸術社 |
| 8 | H 短大 | やさしく弾ける伴奏法と子どものうた 90 うたのメルヘン | 2010・2 版 (2010 初) | 共同音楽出版社 |
| | | 歌はともだち 4 訂版 | 2012・2 版 (2011 初) | 教育芸術社 |
| | | おいしいってうれしいね 食育をテーマに歌う子どもの歌 43 | 2011 初 | 共同音楽出版社 |
| | | 保育の現場に役立つアイデア集 おんがく玉手箱 | 2010・初 | 共同音楽出版社 |
| 9 | I 短大 | 幼児教育・保育士養成のための 幼児の音楽教育 ー音楽的表現の指導ー | 2006・8 版 | 音楽教育研究協会 |
| | | やさしい伴奏によるこどものうた① | 無記載 | 全音楽譜出版社 |
| 10 | J 短大 | Child 保育実用書シリーズ いろいろな伴奏で弾ける選曲 こどものうた 100 | 2006・39 版 (1082 初) | チャイルド社 |
| | | 弾き歌いテキスト | | J 短大オリジナル |
| | | 器楽 II テキスト コードネームによる 子どもの歌 (実用ピアノコース) | | J 短大オリジナル |
| | | 各園でよく歌われる こどものうた | | J 短大オリジナル |
| 11 | K 短大 | ピアノ曲集・童謡曲集 保育者のための My Melody | 2008・2 版 (2005 初) | 全音楽譜出版社 |
| 12 | L 大学 | 最新 初等科音楽教育法 [改定版] 小学校教員養成課程用 | 2012・3 版 (2011 初) | 音楽之友社 |
| 13 | M 大学 | 幼児教育法シリーズ幼児教育科・保育科/幼稚園教員・保育士養成課程用 音楽リズム | 2012・32 版 (1984 初) | 東京書籍 |
| | | Child 保育実用書シリーズ いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 200 | 2003・82 版 (1984 初) | チャイルド社 |
| 14 | N 短大 | やさしい弾き歌い 75 保育者のためのーよく歌われる子どもの歌 | 2011・6 版 (2007 初) | 音楽之友社 |
| 15 | O 短大 | やさしい弾き歌い 75 保育者のためのーよく歌われる子どもの歌 | 2011・6 版 (2007 初) | 音楽之友社 |
| | | Child 保育実用書シリーズ こどものうた 200 | 2010・93 版 (1975 初) | チャイルド社 |
| 16 | P 短大 | やさしい弾き歌い 75 保育者のためのーよく歌われる子どもの歌 | 2011・6 版 (2007 初) | 音楽之友社 |
| | | 幼稚園教諭・保育士をめざす 楽しい音楽表現 | 2010・2 版 (2009 初) | 圭文社 |
| | | 「いつ」「どのように」使えるかがわかる!! 手あそび百科 | 2006・5 版 (2006 初) | ひかりのくに |
| | | 幼稚園・保育園の わらべうたあそび 春・夏 | 2008・10 版 (1994 初) | 明治図書出版 |
| | | 幼稚園・保育園の わらべうたあそび 秋・冬 | 2009・15 版 (1995 初) | 明治図書出版 |
| 17 | Q 短大 | Child 保育実用書シリーズ こどものうた 200 | 2010・93 版 (1975 初) | チャイルド社 |

| | | | | |
|----|------|----------------------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 18 | R 大学 | 教育・保育現場で毎日使える コードでかんたん！こどものうた マイ・レパートリー | 2012・5 版（2008） | ヤマハ ミュージックメディア |
| | | 最新 初等科音楽教育法〔改定版〕小学校教員養成課程用 | 2012・3 版（2011 初） | 音楽之友社 |
| | | 幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育 | 2011・2 版（2010 初） | 音楽之友社 |
| 19 | S 大学 | 幼児のうた 130 選 | 2008・3 版（2001 初） | 全国社会福祉協議会 |
| 20 | T 大学 | 幼稚園教諭、保育士、小学校教員をめざす人のためのピアノテキスト 歌おう！弾こう！こどもとともに | 2012・10 版（2006 初） | ヤマハ ミュージックメディア |
| | | 子どものうた弾き歌い ベスト 50 注釈付き | 2011 初 | 音楽の友社 |
| 21 | U 短大 | こどものうた名曲全集 〈決定版 512 曲満載〉 | 2011・初 | ドレミ楽譜出版社 |
| | | Child 保育実用書シリーズ こどものうた 200 | 2003・82 版（1975 初） | チャイルド社 |
| | | Child 保育実用書シリーズ 続こどものうた 200 | 2005・17 版（1996 初） | チャイルド社 |
| | | 保育で使える！伴奏づけもできる！ こどものうた伴奏大全集 | 2010・7 版（2008 初） | 自由現代社 |
| | | いつも使える 季節・行事のうたから人気のアニメソングまで こどものうた伴奏集 | 2007・5 版（2005 初） | 自由現代社 |
| | | いつも使える こどものうた伴奏集Ⅱ | 2010・初 | 自由現代社 |
| 22 | V 短大 | 簡易伴奏による 実用こどもの歌曲 200 選 | 2005・24 版（1992 初） | チャイルド社 |
| | | やさしい弾き歌い 75 保育者のためのーよく歌われる子どもの歌 | 2011・6 版（2007 初） | 音楽之友社 |

※表中の太線は、大学・短大の所在地である兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県の区分を示す

2. テキスト掲載曲の分布

2.1 研究の方法

表 1 に示した近畿圏の 22 大学および短期大学で使用されている、テキスト 51 冊 33 種類に掲載されている曲を全て抽出したところ、曲の種類は 1185 曲挙げられた。テキストは、1 冊に掲載されている曲が 16 曲から多いものでは 512 曲までおおよぶものがある。

表 3 では、1185 曲の中から掲載頻度が 10 以上の曲を割り出しその順位を示し、表 4 では、掲載頻度が 6～9 の曲を割り出した。今回の調査では、掲載頻度だけでは傾向がつかめないの、分布も調べることにし

た。掲載頻度 10 以上は 10 曲単位、掲載頻度 6～9 と掲載頻度 2～5 をまとめたのは、全体の割合からみて曲数が少ないためである。また、同じ題名で異なる歌詞の曲が存在するので、作詞・作曲者名と歌いだしの歌詞を明記した。作品が作られた時代として、明治・大正・昭和の戦前・昭和の戦後・平成に区分し、日本古謡やわらべうたは、明治以前の曲であることは明らかであるが作られた年代が不明なため、作品年を記載しなかった。作品年が確定しにくい場合は、作詞者と作曲者の活動期の中心と思われる年代を想定して記載し、作詞者・作曲者が不詳のものは空白にしている。また外国民謡や外国曲は、日本で訳詞や作詞がされた年を作品年として明記した。

表 3 掲載頻度 10 以上の曲

| 番号 | 曲目 | 頻度 | 作詞 | 作曲 | 歌いだしの歌詞 | 作品年 | | | | |
|----|----------------|----|-----------|----------|-------------------|-----|---|---|---|---|
| | | | | | | 明 | 大 | 前 | 後 | 平 |
| 1 | あめふりくまのこ | 33 | 鶴見正夫 | 湯山昭 | おやまにあめがふりました | | | | | ◎ |
| 2 | いちねんせいになったら | 33 | まどみちお | 山本直純 | いちねんせいになったら | | | | | △ |
| 3 | おもいでアルバム | 33 | 増子とし | 本多鉄磨 | いつのことだかおもいだしてごらん | | | | | ◎ |
| 4 | アイアイ | 32 | 相田裕美 | 宇野誠一郎 | アイアイアイアイおさるさんだよ | | | | | ◎ |
| 5 | あわてんぼうのサンタクロース | 32 | 吉岡治 | 小林亜星 | あわてんぼうのサンタクロース | | | | | ◎ |
| 6 | いぬのおまわりさん | 32 | 佐藤義美 | 大中恩 | まいごのまいごのこねこちゃん | | | | | ◎ |
| 7 | うれしいひなまつり | 32 | 山野三郎 | 河村光陽 | あかりをつけましょぼんぼりに | | | | ◎ | |
| 8 | おしょうがつ | 32 | 東くめ | 滝廉太郎 | もういくつねとおしょうがつ | ◎ | | | | |
| 9 | 大きな栗の木の下で | 32 | 不詳 | イギリス民謡 | おおきなくりのきのしたで | | | | | ◎ |
| 10 | たなばたさま | 32 | 権藤はなよ・林柳波 | 下総院一 | ささのはさらさらのきばにゆれる | | | | ◎ | |
| 11 | おばけなんてないさ | 31 | 槇みのり | 峯陽 | おばけなんてないさ | | | | | △ |
| 12 | やまのおんがくか | 31 | 水田詩仙 | ドイツ民謡 | わたしゃおんがくかやまのこりす | | | | | ◎ |
| 13 | おもちゃのチャチャチャ | 30 | 野坂昭如 | 越部信義 | おもちゃのチャチャチャ | | | | | ◎ |
| 14 | おはながわらった | 30 | 保富康午 | 湯山昭 | おはながわらったおはながわらった | | | | | ◎ |
| 15 | ぞうさん | 30 | まどみちお | 團伊玖磨 | ぞうさんぞうさんおはながながいのね | | | | | ◎ |
| 16 | どんぐりころころ | 30 | 青木存義 | 梁田貞 | どんぐりころころどんぶりこ | | | | | ◎ |
| 17 | ふしぎなポケット | 30 | まどみちお | 渡辺茂 | ポケットのなかにはビスケットが | | | | | ◎ |
| 18 | こいのぼり (えほん唱歌) | 29 | 日本教育音楽協会 | 日本教育音楽協会 | やねよりたかいこいのぼり | | | | ◎ | |
| 19 | ジングルベル | 29 | 宮澤章二他 | アメリカ曲 | はしれそりよかぜのように | | | | | △ |
| 20 | とんぼのめがね | 29 | 額賀誠志 | 平井康三郎 | とんぼのめがねはみずいろめがね | | | | | ◎ |
| 21 | まつぼっくり | 29 | 広田孝夫 | 小林つや江 | まつぼっくりがあったとき | | | | | ◎ |
| 22 | もりのくまさん | 29 | 馬場祥弘 | 玉木宏樹 | あるひもりのなかくまさんにであった | | | | | ◎ |
| 23 | うみ (文部省唱歌) | 28 | 林柳波 | 文部省唱歌 | うみはひろいなおおきいな | | | | | ◎ |

| 番号 | 曲目 | 頻度 | 作詞 | 作曲 | 歌いだしの歌詞 | 作品年 | | | |
|----|------------------|----|------------|----------|--------------------|-----|---|---|---|
| | | | | | | 明 | 大 | 前 | 後 |
| 24 | 大きな古時計 | 28 | 保富康午 | ワーク | おおきなのおほのふるとけい | | | ◎ | |
| 25 | かたつむり (文部省唱歌) | 28 | 不詳 | 文部省唱歌 | でんでんむしむしかたつむり | ◎ | | | |
| 26 | たきび | 28 | 聖聖歌 | 渡辺茂 | かきねのかきねのまがりかど | | | ◎ | |
| 27 | とけいのうた | 28 | 筒井敬介 | 村上太朗 | こちこちかちんおとけいさん | | | | △ |
| 28 | まめまき (えほん唱歌) | 27 | 不詳 | えほん唱歌 | おにはそとふくはうち | | | | △ |
| 29 | あくしゅでこんにちは | 26 | まどみちお | 渡辺茂 | てくてくてくてくあるいてきて | | | | △ |
| 30 | せんせいとおともだち | 26 | 吉岡治 | 越部信義 | せんせいとおともだち | | | | △ |
| 31 | やぎさんゆうびん | 26 | まどみちお | 團伊玖磨 | しろやぎさんからおてがみついた | | | ◎ | |
| 32 | さんぽ | 25 | 中川季枝子 | 久石譲 | あるこうあるこうわたしはげんき | | | ◎ | |
| 33 | しゃぼんだま | 25 | 野口雨情 | 中山晋平 | しゃぼんだまとんだやねまでとんだ | ◎ | | | |
| 34 | おかあさん | 24 | 田中ナナ | 中田喜直 | おかあさんなあに | | | ◎ | |
| 35 | おつかいありさん | 24 | 関根栄一 | 團伊玖磨 | あんまりいそいでこつんこ | | | ◎ | |
| 36 | チューリップ (えほん唱歌) | 24 | 日本教育音楽協会 | 井上武士 | さいたさいたチューリップのはなが | ◎ | | | |
| 37 | とんでったバナナ | 24 | 片岡輝 | 桜井順 | バナナがいつぱいありました | | | | △ |
| 38 | コンコンクシヤンのうた | 23 | 香山美子 | 湯山昭 | リスさんがマスクした | | | | △ |
| 39 | ことりのうた | 22 | 与田準一 | 芥川也寸志 | ことりはとつてもうたがすき | | | ◎ | |
| 40 | 南の島のハメハメハ大王 | 22 | 伊藤アキラ | 森田公一 | みなみのしまのだいおうは | | | ◎ | |
| 41 | めだかがっこう | 22 | 茶木滋 | 中田喜直 | めだかがっこうは | | | ◎ | |
| 42 | やきいもグーチーパー | 22 | 阪田寛夫 | 山本直純 | やきいもやきいもおなかグー | | | | △ |
| 43 | やまのワルツ | 22 | 香山美子 | 湯山昭 | すてきなやまのようちえん | | | | △ |
| 44 | ゆき (文部省唱歌) | 22 | 乙骨三郎 | 文部省唱歌 | ゆきやこんこあられやこんこ | ◎ | | | |
| 45 | ありさんのおはなし | 21 | 都築益世 | 渡辺茂 | ありさんのおはなしきいたかね | | | ◎ | |
| 46 | かわいいかくれんぼ | 21 | サトウハチロー | 中田喜直 | ひよこがねおにわでびよびよこ | | | ◎ | |
| 47 | はをみがきましよう | 21 | 則武昭彦 | 則武昭彦 | はをみがきましようしゅっしゅっしゅっ | | | | △ |
| 48 | そうだったらいいのにな | 20 | 井出隆夫 | 福田和禾子 | そうだったらいいのにな | | | ◎ | |
| 49 | ハッピー・バースデー・トゥ・ユー | 20 | PS & MJ ヒル | | ハッピーバースデイトゥユー | ◎ | | | |
| 50 | おなかのへるうた | 19 | 阪田寛夫 | 大中恩 | どうしておなかのへるのかな | | | | △ |
| 51 | こおろぎ | 19 | 関根栄一 | 芥川也寸志 | こおろぎちろちろん | | | | △ |
| 52 | 春が来た (文部省唱歌) | 19 | 高野辰之 | 岡野貞一 | はるがきたはるがきたどこにきた | ◎ | | | |
| 53 | ぶんぶんぶん | 19 | 村野四郎 | ボヘミア民謡 | ぶんぶんぶんはちがとぶ | | | | △ |
| 54 | まっかな秋 | 19 | 薩摩忠 | 小林秀雄 | まっかだなまっかだな | | | ◎ | |
| 55 | ゆきのペンキやさん | 19 | 則武昭彦 | 安藤孝 | ゆきのペンキやさんは | | | | △ |
| 56 | おべんとう | 18 | 天野燦 | 一宮道子 | おべんとうおべんとううれいいな | | | △ | |
| 57 | せんろはつづくよどこまでも | 18 | 佐々木敏 | アメリカ民謡 | せんろはつづくよどこまでも | | | ◎ | |
| 58 | てをたたきましよう | 18 | 小林純一 | 不詳 | てをたたきましようたんたんたん | | | ◎ | |
| 59 | バスごっこ | 18 | 香山美子 | 湯山昭 | おがたバスにのってます | | | ◎ | |
| 60 | むすんでひらいて | 18 | 不詳 | ルソー | むすんでひらいて | ◎ | | | |
| 61 | 夕やけこやけ | 18 | 中村雨紅 | 草川信 | ゆうやけこやけでひがくれて | | ◎ | | |
| 62 | おかえりのうた | 17 | 天野燦 | 一宮道子 | きょうもたのしくすぎました | | | △ | |
| 63 | こぶたぬきつねこ | 17 | 山本直純 | 山本直純 | こぶたぬきつねこ | | | | △ |
| 64 | もみじ (文部省唱歌) | 17 | 高野辰之 | 岡野貞一 | あきのゆうひに | ◎ | | | |
| 65 | きのこ | 16 | まどみちお | くらかけ昭二 | きききのこきききのこ | | | | △ |
| 66 | サツちゃん | 16 | 阪田寛夫 | 大中恩 | サツちゃんねさちこっていうんだ | | | ◎ | |
| 67 | てのひらをたいように | 16 | やなせたかし | いずみたく | ぼくらはみんないきている | | | ◎ | |
| 68 | トマト | 16 | 荘司武 | 大中恩 | トマトってかわいいなまえだね | | | | △ |
| 69 | もちつき | 16 | 小林純一 | 中田喜直 | もちつきべったんこ | | | | △ |
| 70 | アイスクリームのうた | 15 | 佐藤義美 | 服部公一 | おとぎばなしのおうじでも | | | ◎ | |
| 71 | おかたづけ | 15 | 不詳 | 不詳 | おかたづけおかたづけ | | | | |
| 72 | おたまじゃくし | 15 | 望月クニ | 田中銀之助 | おたまじゃくしにあしがでて | | | △ | |
| 73 | おほしさま | 15 | 都築益世 | 團伊玖磨 | おほしさまびかりおはなししてる | | | ◎ | |
| 74 | こぎつね | 15 | 勝承夫 | ドイツ民謡 | こぎつねこんこんやまのなか | | | ◎ | |
| 75 | すうじのうた | 15 | 夢虹二 | 小谷肇 | すうじのいちばなあに | | | | △ |
| 76 | ちいさいあきみつけた | 15 | サトウハチロー | 中田喜直 | だれかさんがだれかさんが | | | ◎ | |
| 77 | ともだちさんか | 15 | 阪田寛夫 | アメリカ民謡 | ひとりひとりうたがうてくれば | | | | △ |
| 78 | 虫のこえ (文部省唱歌) | 15 | 不詳 | 文部省唱歌 | あれまつむしがいない | ◎ | | | |
| 79 | ひらいたひらいた | 15 | | わらべうた | ひらいたひらいたなんのはながひらいた | | | | |
| 80 | ゆきのこぼろず | 15 | 村山寿子 | 外国曲 | ゆきのこぼろずゆきのこぼろず | | | △ | |
| 81 | おおきなたいこ | 14 | 小林純一 | 中田喜直 | おおきなたいこどんどん | | | ◎ | |
| 82 | おへそ | 14 | 佐々木美子 | 佐々木美子 | おへそのなかにはながある | | | | |
| 83 | おんまはみんな | 14 | 中山知子 | アメリカ民謡 | おんまはみんなばっばかはする | | | | △ |
| 84 | クラリネットをこわしちゃった | 14 | 石井好子訳詞 | フランス童謡 | ほくのだいすきなクラリネット | | | ◎ | |
| 85 | にじ | 14 | 新沢としひこ | 中川ひろたか | あめがあがつてひかりがさして | | | | △ |
| 86 | もみじ (えほん唱歌) | 14 | 不詳 | えほん唱歌 | あかいあかきもみじのは | | | △ | |
| 87 | イルカはざんぶらこ | 13 | 東龍男 | 若松正司 | イルカはざんぶらこ | | | | △ |
| 88 | おすもうくまちゃん | 13 | 佐藤義美 | 磯部徹 | おすもうくまちゃんくまのこちゃん | | | ◎ | |
| 89 | おちゃらかホイ | 13 | | わらべうた | おちゃらかおちゃらかおちゃらかホイ | | | | |
| 90 | かえるのがつしよう | 13 | 岡本敏明 | 外国曲 | かえるのがつきこえてくるよ | | | △ | |
| 91 | ごんべさんのあかちゃん | 13 | 不詳 | フィンランド民謡 | ごんべさんのあかちゃんが | | | ◎ | |
| 92 | 世界中のこどもたちが | 13 | 新沢としひこ | 中川ひろたか | せかいじゅうのこどもたちが | | | ◎ | |

| 番号 | 曲目 | 頻度 | 作詞 | 作曲 | 歌いだしの歌詞 | 作品年 | | | | |
|-----|----------------|----|---------|----------|--------------------|-----|---|---|---|---|
| | | | | | | 明 | 大 | 前 | 後 | 平 |
| 93 | ちょうちょう | 13 | 不詳 | スペイン民謡 | ちょうちょうちょうちよなのはにとまれ | ◎ | | | | |
| 94 | なみとかいがら | 13 | まどみちお | 中田喜直 | うずまきかいがらどうしてできた | | | | △ | |
| 95 | 春の小川 (文部省唱歌) | 13 | 高野辰之 | 岡野貞一 | はるのおがわはさらさらいくよ | ◎ | | | | |
| 96 | ゆりかごのうた | 13 | 北原白秋 | 草川信 | ゆりかごのうたをカナリヤがうたうよ | | ◎ | | | |
| 97 | ロンドンばしがおちる | 13 | 高田三九三 | イギリス民謡 | ロンドンばしおっこちた | | | △ | | |
| 98 | げんこつやまの | 12 | | わらべうた | げんこつやまのたぬきさん | | | | | |
| 99 | しあわせならてをたたこう | 12 | 木村利人 | アメリカ民謡 | しあわせならてをたたこう | | | | △ | |
| 100 | ドキドキドン！一年生 | 12 | 伊藤アキラ | 桜井順 | さくらさいたらいちねんせい | | | | ◎ | |
| 101 | おはなしゆびさん | 11 | 香山美子 | 湯山昭 | このゆびパパふとちよパパ | | | | ◎ | |
| 102 | カレーライス (のうた) | 11 | ともろぎゆきお | 峯陽 | にんじんたまねぎじゃがいもぶたにく | | | | △ | |
| 103 | サンタクロース | 11 | 水田詩仙 | フランス民謡 | ながいおひげのサンタクロース | | | | △ | |
| 104 | 10人のインディアン | 11 | 高田三九三 | アメリカ曲 | ひとりふたりさんにんのインディアン | | | △ | | |
| 105 | たのしいね | 11 | 山内佳鶴子 | 寺島尚彦 | たのしいねりょうてをあわすと | | | | ◎ | |
| 106 | 動物園へ行こう | 11 | 海野洋司 | Tバックストーン | どうぶつえんへいこうよ | | | | ◎ | |
| 107 | にんげんっていいな | 11 | 山口あかり | 小林亜星 | くまのこみていたかくれんぼ | | | | ◎ | |
| 108 | ふるさと (文部省唱歌) | 11 | 高野辰之 | 岡野貞一 | うさぎおいしかのやま | | ◎ | | | |
| 109 | いとまき | 10 | | 外国曲 | いとまきまきいとまきまき | | | | △ | |
| 110 | インディアンがとおる | 10 | 山中恒 | 湯浅譲二 | インディアンがとおる | | | | △ | |
| 111 | うちゅうせんのうた | 10 | ともろぎゆきお | 峯陽 | うちゅうせんにつてげんきにいこう | | | | △ | |
| 112 | うさぎ (文部省唱歌) | 10 | 不詳 | 文部省唱歌 | うさぎうさぎなにみてはねる | ◎ | | | | |
| 113 | かごめかごめ | 10 | | わらべうた | かごめかごめかごのなかのとりは | | | | | |
| 114 | きのいいあひる | 10 | 高木義夫 | ボヘミア民謡 | あるひあひるはからだがおおきくて | | | | ◎ | |
| 115 | キラキラ星 | 10 | 武鹿悦子 | フランス民謡 | キラキラひかるおそらのほしよ | | | | △ | |
| 116 | ゴリラのうた | 10 | 上坪マヤ | 峯陽 | ゴリラはエッホッホ | | | | △ | |
| 117 | ずいずいずっころばし | 10 | | わらべうた | ずいずいずっころばしごまみそずい | | | | | |
| 118 | ドレミの歌 | 10 | ベギー葉山訳詞 | R ロジャーズ | ドはドーナツのド | | | | ◎ | |
| 119 | どんな色がすき | 10 | 坂田修 | 坂田修 | どんないろがすきあか | | | | | ◎ |
| 120 | はしるのだいすき | 10 | まどみちお | 佐藤真 | はしるのだいすきタッタタッタ | | | | △ | |
| 121 | はしれちょうとつきゅう | 10 | 山中恒 | 湯浅譲二 | ビューワーンビューワーンはしる | | | | △ | |
| 122 | はる | 10 | 吉田トミ | 井上武士 | ぼかぼかはるが | | | ◎ | | |
| 123 | ホ！ホ！ホ！ | 10 | 伊藤アキラ | 越部信義 | すてきなメロディわすれたときは | | | | ◎ | |
| 124 | ほくのミックスジュース | 10 | 五味太郎 | 渋谷毅 | おはようさんのおおごえと | | | | ◎ | |
| 125 | みずあそび | 10 | 東くめ | 滝廉太郎 | みずをたくさんくんできて | ◎ | | | | |
| 126 | みんなともだち | 10 | 中川ひろたか | 中川ひろたか | みんなともだちきつときつともだち | | | | | ◎ |
| 127 | メリーさんのひつじ | 10 | 高田三九三訳詞 | アメリカ曲 | メリーさんのひつじひつじひつじ | | | △ | | |
| 128 | われは海の子 (文部省唱歌) | 10 | 不詳 | 文部省唱歌 | われはうみのこしらなみの | ◎ | | | | |

※表中の太線は、掲載頻度 30, 20, 10 の区切りを示す。
 ※作詞者、訳詞者、作曲者の名前がわかるものは明記した。
 ※作品年の「明」は明治時代「大」は大正時代、「前」は昭和時代戦前、「後」は昭和時代戦後、「平」は平成時代を示す。
 ◎は作品が発表された年が確定されるもの。
 △は作品年が確定できないため、作詞者・作曲者の活動期の中心を作品年と仮定し明記した。
 わらべうたは作られた年が不明のため作品年を空白とした。

表 4 掲載頻度 6~9 の曲

| 番号 | 曲目 | 頻度 | 作詞 | 作曲 | 歌いだしの歌詞 | 作品年 | | | | |
|----|-----------------|----|---------|---------|-------------------|-----|---|---|---|---|
| | | | | | | 明 | 大 | 前 | 後 | 平 |
| 1 | あひるのぎょうれつ | 9 | 小林純一 | 中田喜直 | あひるのぎょうれつヨチヨチヨチ | | | | ◎ | |
| 2 | いもほりのうた | 9 | 高杉自子 | 渡辺茂 | いもほりホイおやいもホイ | | | | △ | |
| 3 | うみ | 9 | 天野蝶 | 一宮道子 | うみだうみだひろいな | | | △ | | |
| 4 | かぜさんだつて | 9 | 芝山かおる | 芝山かおる | かぜさんだつておててがあるよ | | | | △ | |
| 5 | かくれんぼ | 9 | 林柳波 | 下総院一 | かくれんぼするものよっといで | | | ◎ | | |
| 6 | 北風小僧の寒太郎 | 9 | 井出隆夫 | 福田和禾子 | きたかぜこぞうのかんたろう | | | | | ◎ |
| 7 | きゅつきゅつきゅう | 9 | 相良和子 | 芥川也寸志 | キュッキュッキュウとくつをみがこう | | | | ◎ | |
| 8 | きよこの夜 | 9 | 由木康 | グルーパー | きよこのよるほしはひかり | | | ◎ | | |
| 9 | こいのぼり | 9 | | 文部省唱歌 | いらかのなみとくものなみ | | | ◎ | | |
| 10 | こもりうた | 9 | 日本古謡 | 日本古謡 | ねんねんころりよおころりよ | | | | | |
| 11 | ことしのぼたん | 9 | | わらべうた | ことしのぼたんはよいぼたん | | | | | |
| 12 | こんべいとう | 9 | 関根栄一 | 湯山昭 | おほしさまがないたら | | | | △ | |
| 13 | さくらさくら | 9 | 日本古謡 | 日本古謡 | さくらさくらやよいのそらは | ◎ | | | | |
| 14 | ちゃつみ (文部省唱歌) | 9 | | 文部省唱歌 | なつもちがづくはちじゅうはちや | ◎ | | | | |
| 15 | てをつなごう | 9 | 中川季 | 諸井誠 | てをつなごうみんなててをつなごう | | | | ◎ | |
| 16 | パンダうさぎコアラ | 9 | 高田ひろお | 乾裕樹 | おいでおいでおいでおいでパンダ | | | | | |
| 17 | はたけのポルカ | 9 | 峯陽 | ポーランド民謡 | いちばんめのはたけに | | | | △ | |
| 18 | ぶらんこ | 9 | 都築益世 | 團伊久磨 | ぶらんこゆれておそらがゆれる | | | | △ | |
| 19 | マグドナルドじいさんかっている | 9 | | アメリカ民謡 | マグドナルドじいさんかっている | | | | | |
| 20 | ミッキーマウス・マーチ | 9 | 蓮健二 | ジミー・トッド | せかいじゅうどこだって | | | | ◎ | |
| 21 | やまびこごっこ | 9 | おうちやすゆき | 若月明人 | やまびこさん(やまびこさん) | | | | △ | |
| 22 | あめ | 8 | 杉山米子 | 小松耕輔 | あめあめがふっている | | | △ | | |

| 番号 | 曲目 | 頻度 | 作詞 | 作曲 | 歌いだしの歌詞 | 作品年 | | | | |
|----|----------------|----|---------|-------------|---------------------|-----|---|---|---|---|
| | | | | | | 明 | 大 | 前 | 後 | 平 |
| 23 | ありがとうさようなら | 8 | 井出隆夫 | 福田和禾子 | ありがとうさよならともだち | | | | ◎ | |
| 24 | あがりめさがりめ | 8 | | わらべうた | あがりめさがりめぐるっとまわって | | | | | |
| 25 | アルプス一万尺 | 8 | 不詳 | アメリカ民謡 | アルプスイちまんじゃく | | | | △ | |
| 26 | 赤鬼と青鬼のタンゴ | 8 | 加藤直 | 中島光一 | あさかぜのわすれもの | | | | ◎ | |
| 27 | あしふみたんたん | 8 | 則武昭彦 | 則武昭彦 | あしふみあしふみタンタン | | | | △ | |
| 28 | あんたがたごさ | 8 | | わらべうた | あんたがたごさごさ | | | | | |
| 29 | おしくらまんじゅう | 8 | | わらべうた | おしくらまんじゅうおされてなくな | | | | | |
| 30 | おてらのおしょうさん | 8 | | わらべうた | おてらのおしょうさんが | | | | | |
| 31 | おぼろ月夜 (文部省唱歌) | 8 | 高野辰之 | 岡野貞一 | なのはなばたけにいりひうすれ | | | ◎ | | |
| 32 | きみとほくのラララ | 8 | 新沢としひこ | 中川ひろたか | さよならなんていわなくてもいいよね | | | | | △ |
| 33 | くだもの列車 | 8 | 矢代球磨男 | 小林つや江 | カッタタターンおどがする | | | | △ | |
| 34 | こもりうた | 8 | 野上彰 | 團伊久磨 | むかしむかしよきたのはて | | | | △ | |
| 35 | シャベルでホイ | 8 | サトウハチロー | 中田喜直 | しゃべるでホイせつせこホイ | | | | ◎ | |
| 36 | せっけんさん | 8 | まどみちお | 富永三郎 | せっけんさんはいいいにおい | | | | △ | |
| 37 | たけのこいっほんおくれ | 8 | | わらべうた | たけのこいっほんおくれ | | | | | |
| 38 | たんぼの中のいっけんや | 8 | 高田三九三 | イギリス民謡 | たんぼのなかのおひやくしょうや | | | | △ | |
| 39 | 小さな世界 | 8 | 岩谷時子 | RM&RB シャーマン | せかいじゅうどこだって | | | | ◎ | |
| 40 | つばめ | 8 | 則武昭彦 | 安藤孝 | つばめのかあさん | | | | △ | |
| 41 | トムビリビ | 8 | 水野汀子 | ポップ | トムビリビはにけんおうちをもっている | | | | | △ |
| 42 | ドロップスのうた | 8 | まどみちお | 大中恩 | むかしなきむしかみさまが | | | | | ◎ |
| 43 | 七つの子 | 8 | 野口雨情 | 本居長世 | からすなせなくのからすはやまに | | | ◎ | | |
| 44 | ニャニョの天気予報 | 8 | 小黒恵子 | 宇野誠一郎 | ニャニャニャニョのてんきまほう | | | | | △ |
| 45 | ねこふんじゃった | 8 | 阪田寛夫 | 不詳 | ねこふんじゃった | | | | ◎ | |
| 46 | 花のお国の汽車ポップ | 8 | 小林純一 | 中田喜直 | アネモネえきからきしゃぼつぼ | | | | | △ |
| 47 | 日の丸 (文部省唱歌) | 8 | 高野辰之 | 文部省唱歌 | しろじにあかくひのまるそめて | | | ◎ | | |
| 48 | ふじ山 (文部省唱歌) | 8 | 巖谷小波 | 文部省唱歌 | あたまをくものうえにだし | | | ◎ | | |
| 49 | やまごやいっけん | 8 | 志摩桂 | アメリカ民謡 | やまごやいっけんありました | | | | | |
| 50 | いもむしごろご | 7 | | わらべうた | いもむしゴロゴロひょうたんポックリコ | | | | | |
| 51 | 越天楽今様 | 7 | 日本古謡 | 慈鎮和尚 | はるのやよいのあけぼのに | | | | | |
| 52 | おどろうたのしいポーレチケ | 7 | | ポーランド民謡 | さあたのしいポーレチケ | | | | | |
| 53 | おててをあらいましょう | 7 | 不詳 | 不詳 | おててをあらいましょう | | | | | △ |
| 54 | オニはうちでいきうけた | 7 | 新沢としひこ | 中川ひろたか | うちにオニがいたらさ | | | | | △ |
| 55 | おはようクレヨン | 7 | 谷山浩子 | 谷山浩子 | あかいクレヨンいちばんさきに | | | | ◎ | |
| 56 | おもちゃのマーチ | 7 | 海野厚 | 小田島樹人 | やっこやっこくりだした | | | | ◎ | |
| 57 | きくの花 | 7 | 立野勇 | 本多鉄磨 | ひとつふたつみつよついつつ | | | | | △ |
| 58 | しずかなこはん | 7 | 不詳 | スイス民謡 | しずかなこはんのもりのかげから | | | | | |
| 59 | スキーの歌 (文部省唱歌) | 7 | 林柳波 | 橋本国彦 | かがやくひのかげはゆるのやま | | | ◎ | | |
| 60 | すてきなパパ | 7 | 前田恵子 | 前田恵子 | パパパパえらいえらいパパ | | | | | △ |
| 61 | だるまさん | 7 | | わらべうた | だるまさんだるまさん | | | | | |
| 62 | ちかてつ | 7 | 名村宏 | 越部信義 | ちかてつはいつもまよなか | | | | ◎ | |
| 63 | ともだちになるために | 7 | 新沢としひこ | 中川ひろたか | ともだちになるために | | | | ◎ | |
| 64 | とんび | 7 | 葛原しげる | 梁田貞 | とべとべとんびそらたかく | | | ◎ | | |
| 65 | ながぐつマーチ | 7 | 筒井敬介 | 宇野誠一郎 | ながぐつははいるねドンドン | | | | | △ |
| 66 | ピクニック | 7 | 萩原英一 | イギリス民謡 | おかをこえゆこうよ | | | | | |
| 67 | ふうせん | 7 | 小池タミ子 | 中田喜直 | あかいふうせんあおいふうせん | | | | | |
| 68 | ふうせん | 7 | 湯浅とんぼ | 中川ひろたか | きいろいふうせんルルル | | | | | |
| 69 | 冬げしき (文部省唱歌) | 7 | | 文部省唱歌 | さざりきゆるみなとえの | | | ◎ | | |
| 70 | ぼうが一本あったとき | 7 | | わらべうた | ぼうがいっほんあったとき | | | | | |
| 71 | みつばちブンブン | 7 | 小林純一 | 細谷一郎 | みつばちブンブンなぜいそぐ | | | | △ | |
| 72 | ライオンのうた | 7 | 峯陽 | 峯陽 | ライオンライオンウァーウァー | | | | | △ |
| 73 | わにのうた | 7 | 上坪マヤ | 峯陽 | わにがおよぐわにがおよぐ | | | | | △ |
| 74 | あくしゅでこんには | 6 | まどみちお | 萩原英彦 | テクテクテクテクあるいてきて | | | | | △ |
| 75 | 赤鼻のトナカイ | 6 | 新田宣夫 | J マークス | まっかなおはなのトナカイさんは | | | | ◎ | |
| 76 | アビニョンの橋の上で | 6 | 不詳 | フランス民謡 | アビニョンのはしでおどろよおどろよ | | | | | |
| 77 | 大きなトンネル小さなトンネル | 6 | まどみちお | 渡辺茂 | ちいさなにもつはかるいか | | | | | △ |
| 78 | 大きなうた | 6 | 中島光一 | 中島光一 | 大きな (大きな) 歌だよ (歌だよ) | | | | ◎ | |
| 79 | おさるがふねをかきました | 6 | まどみちお | 團伊久磨 | ふねでもかいてみましょうと | | | | | △ |
| 80 | おそうじ | 6 | 小林純一 | 中田喜直 | おそうじおそうじはじめにはたきで | | | | | △ |
| 81 | おはよう | 6 | 本多鉄磨 | 本多鉄磨 | せんせいおはようみなさんおはよう | | | | | △ |
| 82 | かいぶつだぞ | 6 | 峯陽 | 外国曲 | かいぶつだぞかいぶつだぞ | | | | | △ |
| 83 | カレンダマーチ | 6 | 井出隆夫 | 福田和禾子 | いちがついっばいゆきよふれ | | | | | △ |
| 84 | かえるのうた | 6 | 関根栄一 | 團伊久磨 | かえるのこどもはまだなげないの | | | | | △ |
| 85 | きれいですか | 6 | 則武昭彦 | 則武昭彦 | きれいですかおかお | | | | | △ |
| 86 | これくらいのおべんとうばこに | 6 | | わらべうた | これくらいのおべんとうばこに | | | | | |
| 87 | サンタが町にやってくる | 6 | 神戸孝夫 | クーツ | さああなたからメリークリスマス | | | | | △ |
| 88 | たんじょうび | 6 | 与田準一 | 酒田富治 | たんたんたんたんたんじょうび | | | | | △ |
| 89 | ちゃつぽ | 6 | | わらべうた | ちゃちゃちゃつぽちゃつぽには | | | | | |
| 90 | つき (文部省唱歌) | 6 | | 文部省唱歌 | でたでたつきが | | | ◎ | | |
| 91 | ツッピンとびうお | 6 | 中村千栄子 | 櫻井順 | ツッピンツッピンとびうおツッピン | | | | ◎ | |

| 番号 | 曲目 | 頻度 | 作詞 | 作曲 | 歌いだしの歌詞 | 作品年 | | | | |
|----|-----------|----|---------|----------|-----------------|-----|---|---|---|---|
| | | | | | | 明 | 大 | 前 | 後 | 平 |
| 92 | てんとうむし | 6 | 清水あき | 小林つや江 | てんとうむしはあかいふく | | | △ | | |
| 93 | なべなべそこぬけ | 6 | | わらべうた | なべなべそこぬけ | | | | | |
| 94 | ほほほたるこい | 6 | | わらべうた | ほほほたるこい | | | | | |
| 95 | ホルディリアクック | 6 | 不詳 | オーストリア民謡 | みどりのやまやまにひびくうたは | | | | | |
| 96 | 夕方のおかあさん | 6 | サトウハチロー | 中田喜直 | かなかなぜみがとおくでないた | | | | | ◎ |
| 97 | ゆうらんバス | 6 | 小林純一 | 中田喜直 | ゆうらんバスかしきりバス | | | | | ◎ |

※表中の太線は、テキスト掲載頻度9, 8, 7, 6の区切りを示す。
 ※作曲者、作詞者、訳詞者の名前がわかるものは明記した。
 ※作品年の「明」は明治時代、「大」は大正時代、「前」は昭和時代戦前、「後」は昭和時代戦後、「平」は平成時代を示す。
 ◎は作品年の明らかなもの。
 △は作品年が確定できないため、作詞者、作曲者の活動期の中心を作品年と仮定して明記した。
 日本古謡、わらべうた、外国曲、外国民謡は、作られた年が不明のため、作品年を空白とした。

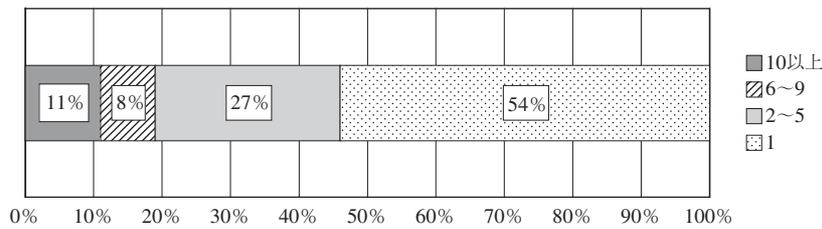


図4 曲の掲載頻度 (合計 1185 曲)

2.2 掲載頻度と曲の種類

図4に示すように掲載頻度10以上は128曲で全体の11%、掲載頻度6~9は97曲で8%、掲載頻度2~5は325曲で27%、1は635曲で54%という結果が出た。掲載頻度10以上と6~9の割合は非常に少なく、1が総曲数1185曲の約半数に及んだ。10以上の割合が11%と非常に少なく、この結果から言えることは、テキストの掲載曲がかなり絞り込まれていることである。

表3の最も多い曲としては、「あめふりくまのこ」の他「いちねんせいになったら」「おもいでアルバム」の3曲が上位を占め、また2番目の掲載頻度32には「アイアイ」「あわてんぼうのサンタクロース」

「いぬのおまわりさん」「うれしいひなまつり」「おしよがつ」「おおきな栗のきのしたで」「たなばたさま」の7曲が挙げられた。掲載頻度31には「おぼけなんてないさ」「やまのおながくか」の2曲で、掲載頻度30には「おもちゃのチャチャチャ」「おはながわらった」「ぞうさん」「どんぐりころころ」「ふしぎなポケット」など17曲が上位を占めた。また掲載頻度20以上には「こいのぼり」や「ジングルベル」の他30曲、10以上には「おなかのへるうた」「こおろぎ」他77曲など、掲載頻度10以上には、こどもの歌の定番の曲が多く登場している。

また、掲載頻度6~9には、「あひるのぎょうれつ」「いもほりのうた」「うみ」他94曲、掲載頻度2~5に

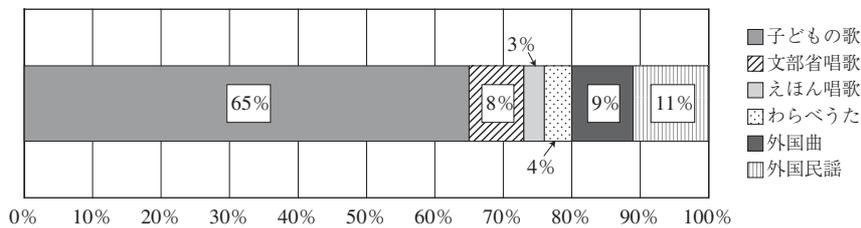


図5 曲の種類 掲載頻度10以上

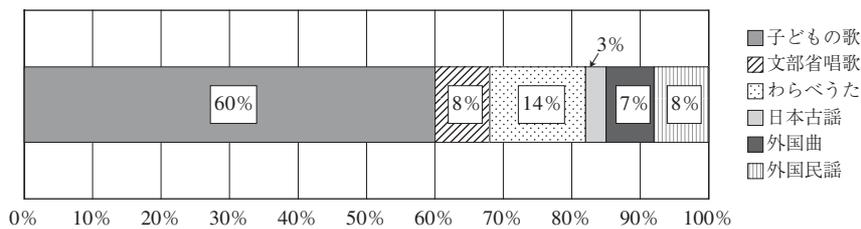


図6 曲の種類 掲載頻度6~9

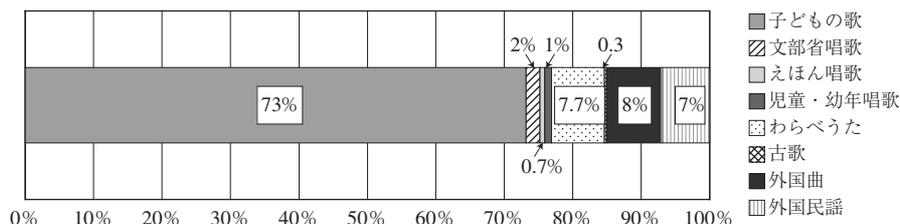


図 7 曲の種類 掲載頻度 2~5

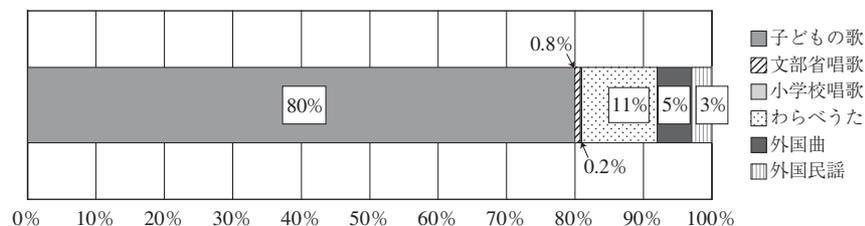


図 8 曲の種類 掲載頻度 1

は「朝いちばんはやいのは」「あめふり」「アンパンマンのマーチ」他 322 曲, 掲載頻度 1 には「青い目の人形」「赤い靴」「あかちゃんのおみみ」他 632 曲が挙げられた。

掲載頻度 2~5 と 1 の曲が多いのは, 多くの曲を知って欲しいという編著者の思いが込められていると推測される。

次に 1185 曲の種類を調べた。今回は子ども向けの歌の総称を「こどもの歌」と表記している。種類として分類する際に, 文部省唱歌やえほん唱歌, 児童唱歌, 幼年唱歌, 小学校唱歌やわらべうた, 日本古謡や古歌などのほか, 外国曲や外国民謡と分類をしたが, その他の曲はすべて「子どもの歌」として分類を行った。

図 5 に示すように, 掲載頻度 10 以上の曲の種類として, 子どもの歌が 65% と半数以上を占めている。それに比べて文部省唱歌が 8%, えほん唱歌が 3%, わらべうたは 4% と非常に少ないことに驚かされる。また外国曲が 9%, 外国民謡が 11% 含まれていた。

図 6 の掲載頻度 6~9 では, 子どもの歌が 60% と半数以上を占め, 文部省唱歌が 8%, わらべうたが 14%, 日本古謡が 3%, 外国曲は 7%, 外国民謡が 8%

という結果がでた。ここでも子どもの歌が全体の半数以上を占め, わらべうたは掲載頻度 10 以上より多くなり, 14% という結果がでた。

図 7 の掲載頻度 2~5 では, 子どもの歌が 73% と圧倒的に多く, 文部省唱歌やえほん唱歌, 児童唱歌, 幼年唱歌, わらべうたや古歌は合わせて 11.7% と少なく, 全体の 1 割という結果がでた。外国曲は 8% と外国民謡は 7% と掲載頻度 6~9 と同じ数字になった。

図 8 の掲載頻度 1 でも, 子どもの歌が全体の 80% と非常に多く, 文部省唱歌や小学校唱歌は合わせて 1% と非常に少ない。わらべうたは 11% と全体の 1 割に達し, 外国曲と外国民謡は掲載頻度 10 以上・6~9・2~5 に比べて少なく 8% という結果がでた。

全体を見ると, 子どもの歌の掲載が比較的多いが, 文部省唱歌やわらべうたなどの掲載が比較的に少ないことがわかった。外国曲と外国民謡は, 日本の唱歌やわらべうたなどより掲載頻度は少し高かった。今回調査したテキストには, 唱歌が減る傾向にあることが読み取れる。また, わらべうたも掲載総数から考えると非常に少なく, テキストに採用されにくくなっている現状が明らかになった。

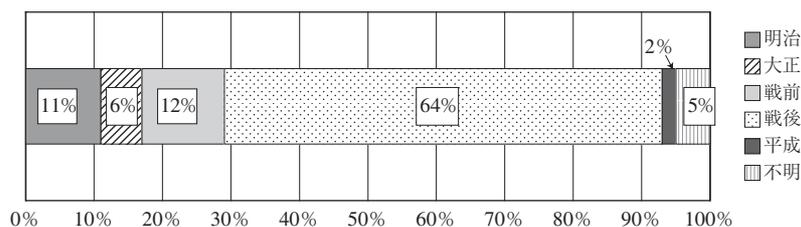


図 9 作品年 掲載頻度 10 以上

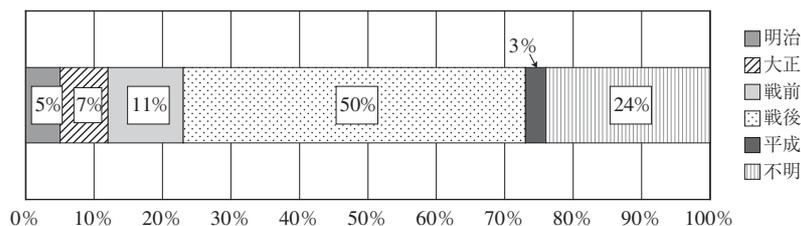


図10 作品年 掲載頻度 6~9

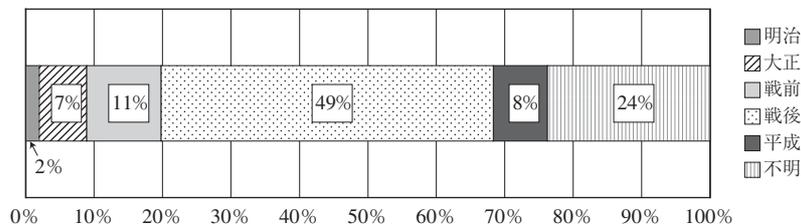


図11 作品年 掲載頻度 2~5

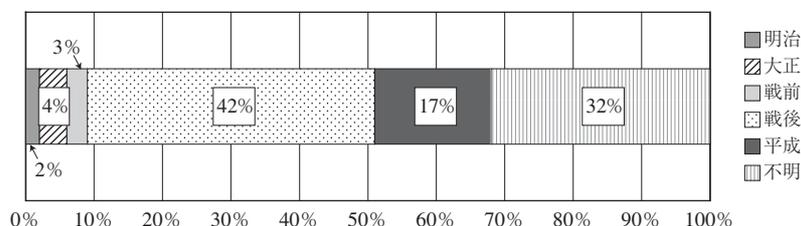


図12 作品年 掲載頻度 1

2.3 作品年

次に歌が作られたと思われる作品年を調べた。

図9の掲載頻度10以上では昭和の戦後の曲が64%と圧倒的に多いことがわかった。明治11%，大正6%，戦前14%，平成は2%と、平成に作られた曲が特に少ないことが大きな特徴であり、予想外の結果である。

図10の掲載頻度6~9では、明治5%，大正7%，戦前11%，戦後50%，平成3%で、やはり戦後の曲が全体の半数を占めている。平成に作られた曲も掲載頻度10以上と同じく非常に少ない。

図11の掲載頻度2~5では、明治が2%，大正7%，戦前11%，戦後49%と、戦後に作られた曲が全体の約半数を占めている。平成は8%と少ない。

図12の掲載頻度1では、明治が2%，大正4%，戦前も3%と少なくなり、戦後が42%と少し減り平成が17%と全体の2割近くに達した。

今回調査したテキストは、1989年~2012年に出版されたものであるが、23年の間にテキストに使用されている歌があまり変化していないことが今回の調査で明らかになった。

編著者が後世に歌い継いで欲しいという思いが込められていると推測される。

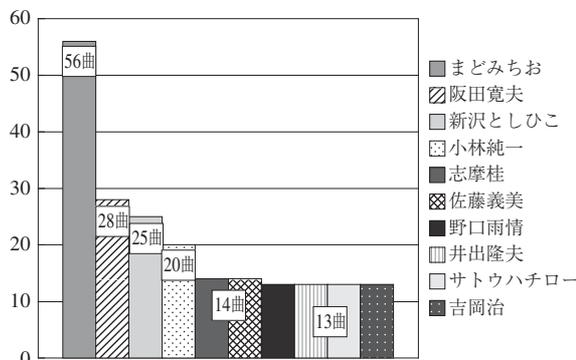


図13 作詞者 掲載曲数上位10位

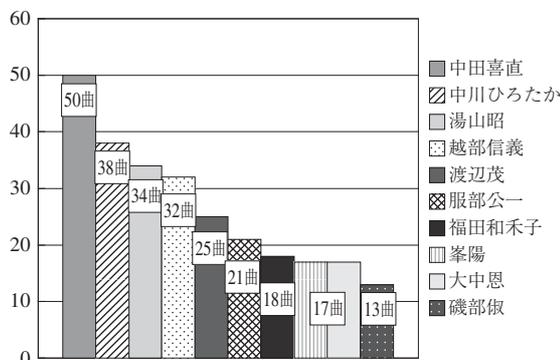


図14 作曲者 掲載曲数上位10位

2.4 作詞者・作曲者

作詞者と作曲者に関しては、1185 曲全体で見て行く。

図 13 に示すように、作詞者の中で掲載されている曲が多いのは「いちねんせいになったら」や「ぞうさん」でよく知られているまどみちおで 56 曲、ついで「やさいもグーチーパー」や「サッチャン」で有名な阪田寛夫が 28 曲で 2 番目に多く、近年活躍している「にじ」や「世界中のこどもたち」を作詞した新沢としひこが 25 曲で 3 番目に挙がっている。他に小林純一・志摩桂・佐藤義美・野口雨情・井出隆夫・サトウハチロー・吉岡治が上位を占めた。この中で明治・大正時代に活躍したのは野口雨情のみで、その他の作詞者は戦後や平成で活躍している作詞家である。また、志摩桂は外国民謡に作詞をしている作詞家である。

図 14 に示すのは、作曲者の上位 10 名である。1 番掲載されている曲が多いのは「おかあさん」や「めだかのがっこう」でよく知られている中田喜直が 50 曲。2 番目の中川ひろたかは、昭和の終わりから平成にかけて活躍しており、38 曲の掲載があった。新沢としひこと一緒に多くの楽曲を作っている。3 番目は、「おはながわらった」や「コンコンクシヤンのうた」を作曲した湯山昭で 34 曲。他に越部信義・渡辺茂・服部公一・福田和禾子・峯陽・大中恩・磯部俣などの作曲者が上位を占めた。

3. テキスト掲載曲の傾向

テキスト掲載曲 1185 曲中、掲載頻度 10 以上が 128 曲で、掲載頻度 1 が 635 曲という大きな差に特徴のある結果が出た。この特徴から掲載曲の傾向を分析する。

まず、11% に厳選された掲載頻度 10 以上の曲の分布は、図 5、図 9 に見るように、季節や行事の歌として保育に欠かせない唱歌やわらべうたと、保育に定着した諸外国の民謡や外国曲など、明治・大正・昭和戦前までのうたが約 29% であり、66% は戦後 1945 年以後に生まれた子どもの歌である。

戦後、新しい時代にふさわしい歌を作ろうと、詩人のサトウハチロー、佐藤義美、まどみちお、作曲家の中田喜直、團伊久磨、芥川也寸志等の作曲家によって、「めだかの学校」、「ぞうさん」、「ことりのうた」等が生まれた。1949 年にはじまった NHK のラジオ番組『うたのおばさん』を通して放送され、それまでの『童謡』とは違う、芸術性のある新しい感覚の子ど

ものうたが登場した。その後、1955 年に中田喜直、大中恩、磯部俣を中心とする『ろばの会』が結成され、「小さい秋みつけた」、「いぬのおまわりさん」、「おすもうくまちゃん」等、子どもの話し言葉をそのまま生かしたような歌が多数誕生した。その流れをくんで、湯山昭、山本直純、越部信義、峯陽、服部公一等の作曲家により、「あめふりくまのこ」、「一年生になったら」、「おもちゃのチャチャ」、「おばけなんてないさ」、「アイスクリームの歌」といったリズムカルでポップス調の歌が、テレビで放送されるようになった。さらに近年では、福田和禾子をはじめ、坂田修、中川ひろたかが、NHK の『おかあさんといっしょ』をはじめとする幼児番組を通して、「そうだったらいいのにな」、「どんないろがすき」、「にじ」など、今の時代感覚を持つ歌を生み出し、子どもの歌の世界をリードしている。表 3 に示した掲載頻度上位の 128 曲には、上述のような放送文化の発達とともに進化した定番中の定番といえる名曲が含まれている。今回の調査では、テキストの編集者や指導者が、この 128 曲をこれからも歌い継ぎたい曲として重用しているという事が明らかになった。同時に、128 という曲数は 1~2 年間の学習期間の習得数・内容ともに十分なので、テキストが似たり寄ったりの定番曲集になりがちな実情も見える。

次に、テキスト掲載曲 1185 曲中 54% を占める掲載頻度 1 の曲について解析する。掲載頻度 1 の曲の分布は、図 8 に示すように、日本のわらべうたや唱歌、外国の民謡やあそび歌が計 127 曲で 20%、子どもの歌が 508 曲で 80% である。

掲載頻度 1 の曲の特徴として、わらべうたが 11% で 73 曲が含まれていることがあげられるが、これは表 1 に示すように、わらべうたあそびのテキストが 2 冊あり、各 30 曲が掲載されているためである。

平成生まれの子どもの歌は、図 9、図 10、図 11 に見るように、掲載頻度 10 曲以上では 1 曲、掲載頻度 6~9 では 4 曲、掲載頻度 2~5 では 26 曲であるが、掲載頻度 1 の場合は、図 12 に示したように 17% で 108 曲であり、その中で中川ひろたかの歌が最も多く 16 曲であった。中川ひろたかは、日本初の男性の保育士としての経験を生かし、保育現場でのコンサート活動を通して、より新しい子どもの歌の世界を広げている。この様に、掲載頻度 1 に平成生まれの歌が多いのは、新しい歌にも親しんでほしい、教材としてフレキシブルに取り入れたい、レパートリーを出来だけ幅広く提供したいという、テキストの編集者や指導者の

願いがこめられているからであろうと考える。

調査をした1989年から2012年発行のテキストには、文部省唱歌、えほん唱歌、児童・幼年唱歌・小学唱歌、日本古謡、古歌、わらべうた、外国曲、外国民謡、子どもの歌と11種にわたるこどもの歌が掲載されていた。このジャンルのなかで、戦後から現代まで約60年間のこどもの歌がほぼ60%を占めていた。掲載頻度10以上の定番曲128曲と掲載頻度1の平成生まれのこどもの歌139曲から、これからも少しずつ変遷していくであろうこどもの歌の動向が感じられる。

おわりに

今回の研究は、テキストの編著者および指導者の立場からの調査と分析に終わったが、今後は、保育園・幼稚園・小学校での学生の実習の情報や採用試験、保育現場・教育現場の情報などをからめ、また学生の子どもの歌の既知曲の実態なども調査して、子どもの歌のテキストやその指導方法の望ましい姿を考えて行きたい。

注

- 1) 表1の番号1, 24, 25
- 2) 表1の番号19
- 3) 表1の番号1, 2, 4, 5, 8, 16, 22, 24, 25, 26, 27, 28
- 4) 表1の番号1, 4, 26, 28
- 5) 表1の番号10, 16
- 6) 表1の番号3, 9, 17
- 7) 表1の番号32, 33
- 8) 表1の番号15, 29

参考文献・引用文献

- 五味克久(1991)「こどもの歌に関する研究 その1」神戸大学研究集録第86号 pp.203-222
- 五味克久(1991)「こどもの歌に関する研究 その2」神戸大学研究集録第87号 pp.179-190
- 滝田善子(1999)「こどもの歌の変遷について」日本保育学会大会研究論文集(52) pp.28-29
- 滝田善子(2000)「こどもの歌の変遷 その2」日本保育学会大会研究論文集(53) pp.268-269
- 滝田善子(2003)「こどもの歌の変遷について その3」日本保育学会大会研究論文集(56) pp.400-401
- 玉井明(2005)「『幼児の歌』の変遷について」保育実践研究 6 pp.15-19
- 小澤和恵(2009)「保育所・幼稚園実習で求められる音楽活動の考察」-「生活の歌」と「季節の歌」について- 埼玉純真短期大学研究論文集第2号 pp.37-47
- 葉口英子(2003)「“みんな”の『みんなのうた』-NHK音楽番組の生産・消費をめぐる一考察」マスコミュニケーション研究 No.62 pp.116-137
- 全国大学音楽教育学会共同研究実行委員会(2009)「日本の童謡、こどもの歌の現状と分析」-保育者養成校と保育現場アンケートより-全国大学音楽教育学会研究紀要別冊
- 坂井康子・山崎和子・衣川久美子・篠原真紀子・古庵晶子(2008)「保育士・幼稚園・小学校教諭養成課程におけるピアノ指導」甲南女子大学研究紀要人間科学部第45号
- 服部公一(2002)「歌ではじまる幼児教育」チャイルド本社 pp.142-144
- ハッピー・ノート com 第384回 Weekly ゴーゴーリサーチ(2008)「子どもの好きなおんがくは?」
- mi:te [ミーテ] WEB アンケート調査(2010)「教えて!ご家庭の『うた♪ライフ』アンケート」
- バンダイこどもアンケートレポート Vol.139(2007)～お子様の好きな歌は何ですか?～
- バンダイこどもアンケートレポート Vol.178(2010)～お子様の好きな歌は何ですか?～
- 上笙一郎編(2005)日本童謡事典 東京堂出版
- 永六輔(2003)「人はなぜ歌うか」NHK 人間講座 六輔流日本音楽史②～③期
- 金田一春彦・安西愛子編(1993, 1994, 1993)日本の唱歌(上)明治編,(中)大正・昭和編,(下)学生歌・軍歌・宗教歌編 講談社文庫
- 町田嘉章・浅野健二編(1979)わらべうた 岩波文庫
- 堀内敬三・井上武士編(2006)日本唱歌集 岩波文庫
- 与田準一編(2005)日本唱歌集 岩波文庫
- 長田暁二編(1985)昭和の童謡アラカルト [戦後編] 株式会社ぎょうせい
- 長田暁二(2008)「心のにこる日本の歌101選」
- 野ばら社編集部編(2004)童謡 増訂版 野ばら社
- 長田暁二編(2000, 1998, 2000)日本叙情歌全集 1, 2, 3 ドレミ楽譜出版社
- 呉竹英一編(2001, 2001, 2002)音楽療法の現場から贈る歌の宝石箱 1, 2, 3 ドレミ楽譜出版社
- 全日本私立幼稚園連合会編(2004)母とおさなごのうた 全音楽譜出版社